

名称: 退院後6週間以内の救急医療入院率（退院症例集計）

指標番号:

QIP: 2084

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 退院後6週間以内の救急医療入院率（退院症例集計）

意義: 退院のモニタリング

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数

分子: 前回の退院日が42日以内の救急医療入院症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間に退院した症例を対象とする

2 :

このうち入院経路が一般入院を対象とする

2010～2013年度「2」、2014年度～「1」「4」「5」

3 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

前回退院年月日が42日以内の症例

2 :

このうち救急医療入院の症例を対象とする

救急医療入院 予定・救急医療入院 2010～2011年度 「2」、 2012年度～ 「3\*\*」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

集計は退院症例の集計。退院症例の入院日を、その入院の前回退院日と比較した集計。再入院後、データベース最新情報で入院継続中の症例については分子の計算に含めていない。これらのため短期間で集計を行うと誤差が生じる。比較的長期（年度等）の集計を行うことで、退院後の再入院割合と近似する。

前日の退院は1日とカウントする。

2012年度以降の予定・救急医療入院は、2\*\*、3\*\*がレセプトの「緊急入院」と対応するが、指標としては救急医療入院「3\*\*」の集計が妥当と考えられる

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合（共通定義）

指標番号:

QIP: 0474\_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-14

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合（共通定義）

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち入院後二日以内にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :  
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。  
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :  
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

分子の定義:

1 :  
I. アスピリンが入院後2日以内に処方されている症例。  
EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、実施年月日が入院後2日以内でありかつ以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		

3399007	アスピリン	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
- 2 :  
座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

参考値:

- 1 :  
アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

- 1 :  
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.  
Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-14

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合（共通定義）

指標番号:

QIP: 0473\_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合（共通定義）

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4 :

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。

退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

分子の定義:

1 :

退院時にアスピリンが処方されている症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定：  
2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		
3399007	アスピリン	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1：  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
- 2：  
座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。
- 3：  
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。  
このうち、いくつか改訂（分母より、転院症例を除外する、等）が望ましいものを反映した定義は0473として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

- 1：  
アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

- 1：  
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed aspirin at hospital discharge. 2010 Apr.  
NQMC:006061

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合

指標番号:

QIP: 0473

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-12

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4 :

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。

退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5 :

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外



する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6：  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1：  
退院時にアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが処方されている症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定：  
2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○			
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○
3399001	チクロピジン塩酸塩	○	○	○	○	○
3399008	クロピドグレル硫酸塩			○	○	○
3399008	硫酸クロピドグレル	○	○	○	○	○
3399009	プラスグレル塩酸塩			○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2：  
座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

3：

2018年度に指標の改定を行い、アスピリンだけではなくアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが含まれるとする抗血小板薬の使用をみる指標とした。

参考値:

1 :

アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1 :

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed aspirin at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006061

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-12

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合

指標番号:

QIP: 0472

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にβブロッカーが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4 :

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。

退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5 :

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

退院時にβブロッカーが処方された症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定：

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

#### 分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123001	アセブトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○			
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	○	○	○
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149021	ニプラジロール	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○			
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149031	ベタキシソロール塩酸塩	○	○	○	○	○

2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○
2149033	ボピンドロール マロン酸塩	○				
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149700	ビソプロロール		○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :  
QIPの過去の指標では4.9%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くでることが予想される。

参考資料:

1 :  
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.  
Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed a beta-blocker at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006064

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

指標番号:

QIP: 2050

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :  
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- 3 :  
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。
- 4 :  
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

- 5 :  
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
スタチンが処方されている症例。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190104	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2189011	シンバスタチン	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189017	ロスバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○

2 :  
このうち、薬剤が退院時に処方されている症例。  
退院時処方の判定 :  
2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :

QIPの過去の指標では4 9%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くでることが予想される。

参考資料:

1 :

日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン（2011年改訂版）, 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21



名称: 急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

指標番号:

QIP: 2051

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
- 解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :
- このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- 3 :
- このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。
- 4 :
- このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

- 5 :
- このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外

する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6：  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1：  
退院時にACEIもしくはARBが処方されている症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定：  
2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード 上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	○	○	○
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	○	○	○
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○

2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :

QIPの過去の似た指標では平均50%程度だが5%～95%まで幅有り。今回の指標では退院時に限定しているため下がる可能性がある。

参考資料:

1 :

日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン（2011年改訂版）, 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

指標番号:

QIP: 2003

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、ACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :  
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- 3 :  
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

- 4 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
ACEIもしくはARBが処方されている症例。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
上7桁						

2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	○	○	○
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	○	○	○
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒ				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :  
アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1 :  
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

指標番号:

QIP: 2082

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患

名称: 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

意義: プロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18 歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた症例数

分子: 分母のうち、来院後90分以内に手技を受けた件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I210	前壁の急性貫壁性心筋梗塞
I211	下壁の急性貫壁性心筋梗塞
I212	その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞
I213	急性貫壁性心筋梗塞，部位不明

3 :

このうち、EF ファイルより以下のPCI を入院日もしくは翌日に1回以上受けたケースを対象とする。

分母のデータ3

レセ電コード（診療 行為コード）	名称	手術点 数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術（急性 心筋梗塞）	K5461			○	○	○
150375010	経皮的冠動脈形成術（不安 定狭心症）	K5462			○	○	○

150375110	経皮的冠動脈形成術（その他）	K5463			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	K5491			○	○	○
150375310	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	K5492			○	○	○
150375410	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	K5493			○	○	○

4 :  
このうち、各ケースにつき様式 1 の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め、18 歳以上のケースのみ対象とする。

5 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
分母のうち、入院日もしくは翌日に下記が算定された症例数。

#### 分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	名称	手術点数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）	K5461			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	K5491			○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
2014年度データ以降のみ算出。ST上昇型の心筋梗塞症例を分母とすることが望ましいが、非ST上昇型の心筋梗塞症例が分母に含まれると指標値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21





名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0549

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例の割合

意義: 脳梗塞の治療に際して急性期に抗血小板療法もしくは抗凝固療法を開始することが勧められる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

分子: 分母のうち、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
- 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
- このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
- このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

- 4 :
- このうち、脳卒中の発症時期が3日以内の症例。2010年度～2011年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より3日以内。
- 例： 2010年9月10日発症 2010年9月13日入院 →4日目入院であり含めない。2012年度～ 脳卒中の発症時期「1（発症3日以内）」
- 5 :
- このうち、t-PA治療を受けた症例を除外する。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例。

### 分母のデータ5

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
3959402	アルテプラゼ	○	○	○	○	○

6 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
I. 抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を入院から2日目までに施行された症例（入院日を第1日目とする）。  
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例。

### 分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○			
2190408	アルガトロバン水和物	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○
3999411	オザグレルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
アルテプラゼ投与後24時間以内に、抗凝固薬、抗血小板薬もしくは血栓溶解薬を投与した場合の安全性と有効性は確立していない（rt-PA（アルテプラゼ）静注療法 適正治療指針 第二版）ため、分母から除外しているガイドラインでは、抗凝固薬としてのヘパリンの使用はグレードC1で考慮してもよいという推奨にとどまっているため分子から除外している：脳卒中治療ガイドライン2009および2015  
抗凝固薬としてのワルファリンは、心原性脳梗塞に適応であり、また効果の発現まで時間を要するため分子から除外している  
このほか抗血小板療法をしない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外するのが望ましい

参考値:

参考資料:

1 :  
薬剤成分名は、以下を参照  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>  
Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association).  
Guidelines for the early management of adults with ischemic stroke. A guideline from the American Heart Association/American Stroke Association Stroke Council, Clinical Cardiology Council, Cardiovascular Radiology and Intervention Council, and the Atherosclerotic Peripheral Vascular Disease and Quality of Care Outcomes in Research Interdisciplinary Working Groups.  
Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack.  
Update to the AHA/ASA recommendations for the prevention of stroke in patients with stroke and transient ischemic attack.

2 :  
脳卒中治療ガイドライン2009および2015 (1-4. 急性期抗血小板療法)

3 :  
脳卒中ガイドライン2015. p58. 1-2, p64. 1-4

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

指標番号:

QIP: 0837

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

意義: 脳梗塞の3次予防に抗血小板薬は有効である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

分子: 分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :  
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :  
このうち、在院日数が 1 2 〇 日以下の症例
- 4 :  
このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

- 5 :  
このうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例を除外する。 Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定 :

2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ5

薬価基準コード上7ケタ	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018

3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸		○	○	○	○
3339003	リバーロキサバン		○	○	○	○
3339004	アピキサバン		○	○	○	○

6 :  
このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

7 :  
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

8 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
抗血小板薬を退院時に処方された症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

#### 分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○	○	○	○
3399001	チクロピジン	○	○	○	○	○
3399002	シロスタゾール	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399008	クロピドグレル	○	○	○	○	○
3399011	チカグレロル				○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン			○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
非心原性脳梗塞の再発予防には、抗凝固薬よりも抗血小板薬の投与が（2015年ガイドラインでは強く）推奨される（グレードA）：脳卒中治療ガイドライン2009、2015  
非心原性TIAの脳梗塞発症予防には抗血小板療法が推奨される（グレードA）：脳卒中治療ガイドライン2009  
TIA急性期以降の治療は、脳梗塞の再発予防に準じて行う：脳卒中治療ガイドライン2015  
抗血小板薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外することが望ましい

参考値:

参考資料:

1 :  
Albers GW, et al. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA), National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2009 Feb. 20 p.Sacco RL, et al. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association).Guidelines for the early management of adults with ischemic stroke. A guideline from the American Heart Association/American Stroke Association Stroke Council, Clinical Cardiology Council, Cardiovascular Radiology and Intervention Council, and the Atherosclerotic Peripheral Vascular Disease and Quality of Care Outcomes in Research Interdisciplinary Working Groups.Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack.Update to the AHA/ASA recommendations for the prevention of stroke in patients with stroke and transient ischemic attack.

2 :  
脳卒中治療ガイドライン2009および2015 （1-4. 急性期抗血小板療法）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

指標番号:

QIP: 2081

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

意義: 退院後の再発予防内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 脳梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :  
このうち、脳梗塞の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードがともに下記である症例。疑い病名は含めない。

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞

- 3 :  
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。
- 4 :  
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

- 5 :  
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。



6 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
スタチンが処方されている症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定 :  
2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上 7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189011	シンバスタチン	○	○	○	○	○
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189017	ロシバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190104	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :

脳卒中治療ガイドライン（2009年版4-1（3）および2015年版3-1（3） 脳梗塞慢性期 脂質異常症）

2 :

脳卒中ガイドライン2015. p92. 3-1

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

指標番号:

QIP: 0841

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

意義: 心房細動を合併する脳梗塞の3次予防に抗凝固薬は有効である。

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例

分子: 分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
- 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
- このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
- このうち、在院日数が 1 2 9 日以下の症例
- 4 :
- このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例
- 入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

- 5 :
- このうち、心房細動の診断を受けた症例。
- いずれかの病名のICD-10コードとして以下が含まれる症例

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I48\$	心房細動及び粗動

- 6 :  
このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
- 7 :  
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。
- 8 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
抗凝固薬を退院時に処方された症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。  
退院時処方の判定 :  
2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」  
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○
3339003	リバーロキサバン		○	○	○	○
3339004	アピキサバン		○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸塩水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
抗凝固薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。  
本指標には、ICD-10コードI48\$による心房粗動が含まれる(約4%)が、心房粗動に対する抗凝固薬は心房細動と同じ適応のため除外していない。  
2015年版ガイドラインより、抗凝固薬としての推奨にワーファリン以外が追加された。

参考値:

参考資料:

- 1 :  
Albers GW, Amarenco P, Easton JD, Sacco RL, Teal P. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.

American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA); 2010 Sep. 26 p. American College of Cardiology, American Heart Association, European Society of Cardiology. ACC/AHA/ESC guidelines for the management of patients with atrial fibrillation. J Am Coll Cardiol 2001 Oct;38:1266i-ixx.

Sacco RL, Adams R, Albers G, Alberts MJ, Benavente O, Furie K, Goldstein LB, Gorelick P, Halperin J, Harbaugh R, Johnston SC, Katzan I, Kelly-Hayes M, Kenton EJ, Marks M, Schwamm LH, Tomsick T. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.

2 :

脳卒中治療ガイドライン（2009年版4-1（6）および2015年版3-1（6） 脳梗塞慢性期 心房細動）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 2005

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

意義: 脳卒中の診断後、できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながる。

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

分子: 分母のうち、入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
  - 2 :  
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
  - 3 :  
このうち、脳梗塞のため入院した症例。  
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
  - 4 :  
このうち、脳卒中の発症時期が3日以内の症例  
2010年度～2011年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より3日以内  
例： 2010年9月10日発症 2010年9月13日入院 →4日目入院であり含めない  
2012年度～ 脳卒中の発症時期「1（発症3日以内）」
  - 5 :  
このうち、7日以内の死亡退院症例を除外する（入院日を 1 として、退院日が7日目以内でかつ退院時転帰が「6．最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7．最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。）
  - 6 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く
- 分子の定義:
- 1 :  
入院後3日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例

入院日後3日以内（入院日を 1 とする）に、レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

### 分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）					○
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（廃用症候群）	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）					○
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）（廃用症候群）	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）					○
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）（廃用症候群）	○	○	○		
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（要介護・入院外）					○
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）（要介護・入院外）					○
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（２）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）（要介護・入院外）					○
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（３）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料 1（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料（１）（要介護）基準不適合					○

180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護）基準不適合					○
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護）基準不適合					○
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症）基準不適合			○		
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○	
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○	
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○	

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

2018年計測時より定義を変更し、除外条件の死亡退院を7日以内の死亡退院に変更

参考値:

1:

QIPの過去の指標では80%前後。

参考資料:

1:

American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.

2:



定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合（成人）

指標番号:

QIP: 0418

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合（成人）

意義: 慢性期の管理方法として中心的な役割を果たしている

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 喘息を原因とする5歳以上の入院症例数

分子: 分母のうち、入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :  
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め5歳以上の症例。
- 3 :  
このうち、喘息の診断を受けた症例。  
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれ、かつ以下の標準病名が部分一致（疑い病名は対象外）すれば対象とする

分母のデータ3

ICD-10 コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

- 4 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
分母のうち、入院中に吸入ステロイドが処方されている症例。  
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、入院中に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例（EF5 データ区分が20 番台（投薬の部））。  
吸入ステロイド

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2290700	フルチカゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290701	ブデソニド	○	○	○	○	○
2290702	シクレソニド	○	○	○	○	○
2290703	モメタゾンフランカルボン酸エステル	○	○	○	○	○
2290800	サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290801	ブデソニド・ホルモテロールフマル酸塩水和物	○	○	○	○	○
2259703	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290802	フルチカゾンプロピオン酸エステル・ホルモテロールフマル酸塩水和物		○	○	○	○
2290803	ビランテロールトリフェニル酢酸塩・フルチカゾンフランカルボン酸エステル		○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
吸入ステロイドが外来で処方され、発作による入院期間中に改めて処方されないケースも少なくないと考えられる。

参考値:

1 :  
米国HEDIS® Performance Trending Report 2012によれば、入院・外来を問わずに行った集計で、中央値85.9%、75パーセンタイル値 88.2%

参考資料:

1 :  
Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI). Diagnosis and management of asthma. Bloomington (MN): Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI); 2010 Jun. 64 p

2 :  
Diagnosis and management of asthma: percentage of hospitalized patients with asthma who are discharged on an inhaled anti-inflammatory medication. 2010 Jun. NQMC:006175

3 :  
Use of appropriate medications for people with asthma: percentage of members 5 to 64 years of age during the measurement year who were identified as having persistent asthma and who were appropriately prescribed medication during the measurement year. National Committee for Quality Assurance (NCQA).

HEDIS 2012: Healthcare Effectiveness Data and Information Set. Vol. 1, narrative. Washington (DC): National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2011.

4 :

Performance Trending Report 2012. Office of Medical Assistance Programs, Pennsylvania Department of Public Welfare. February 6, 2013.

[http://www.dpw.state.pa.us/ucmprd/groups/public/documents/communication/s\\_002193.pdf](http://www.dpw.state.pa.us/ucmprd/groups/public/documents/communication/s_002193.pdf)

(リンク切れ)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0523

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合

意義: 喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げするためにガイドラインで推奨されている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例

分子: 分母のうち、入院中にステロイドの全身投与（静注・経口処方）を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :  
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め2歳以上15歳以下の症例。
- 3 :  
このうち、喘息の診断を受けた症例。  
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10 コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

- 4 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
ステロイドの全身投与を受けた症例  
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。全身ステロイドは内服か注射かを問わない。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2452001	コルチゾン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2452002	ヒドロコルチゾン	○	○	○	○	○
2452003	フルドロコルチゾン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2452400	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2452402	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
2454003	トリアムシノロン	○	○	○	○	○
2454004	ベタメタゾン	○	○	○	○	○
2454401	デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム	○	○	○		
2454402	トリアムシノロンアセトニド	○	○	○	○	○
2454404	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454407	デキサメタゾンパルミチン酸エステル	○	○	○	○	○
2454408	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2456001	プレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456002	プレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456003	メチルプレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456400	メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2456402	メチルプレドニゾロン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2456405	プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

全身ステロイド薬を投与しない医学的理由がある症例は分母から除く。

参考値:

## 参考資料:

1 :

薬剤成分名は、以下を参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

Adams RJ, Fuhlbrigge A, Finkelstein JA, Lozano P, Livingston JM, Weiss KB, Weiss ST. Use of inhaled anti-inflammatory medication in children with asthma in managed care settings. Arch Pediatr Adolesc Med 2001 Apr;155(4):501-7.

Crain EF, Weiss KB, Fagan MJ. Pediatric asthma care in US emergency departments. Current practice in the context of the National Institutes of Health guidelines. Arch Pediatr Adolesc Med 1995 Aug;149(8):893-901.

McCormick MC, Kass B, Elixhauser A, Thompson J, Simpson L. Annual report on access to and utilization of health care for children and youth in the United States--1999. Pediatrics 2000 Jan;105(1 Pt 3):219-30.

Silber JH, Rosenbaum PR, Even-Shoshan O, Shabbout M, Zhang X, Bradlow ET, Marsh RR. Length of stay, conditional length of stay, and prolonged stay in pediatric asthma. Health Serv Res 2003 Jun;38(3):867-86.

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

2 :

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2017（インターネットでは閲覧不可）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

指標番号:

QIP: 2057

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

意義: 他施設よりも値が特に高い施設では再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例

分子: 分母のうち、医源性気胸発生症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :  
このうち、中心静脈カテーテル挿入を受けた症例。EFファイルより以下の処置が施行された症例

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
130004670	中心静脈注射用カテーテル挿入	G005-2	○	○	○	○	○

3 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :  
入院後、医源性気胸の発症症例。入院後発症疾患名のICD10コードに、S270又はS2700が含まれる症例。あるいは入院後発症疾患名に「気胸」が含まれかつそれに続くICD10コードがT812である症例。

分子のデータ1

CD-10コード	病名
T812	医源性気胸 処置中の不慮の穿刺及び裂傷, 他に分類されないもの
S270	外傷性気胸
S2700	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし、閉鎖性外傷性気胸



薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

病名入力の精度に指標値が依存する

2 :

指標とは直接関係ない合併症が分子に含まれる可能性がある(カテーテルには関連しない、時期の異なる合併症の発生等)

3 :

気胸の合併症処置（穿刺、ドレナージなど）や、レントゲン撮影を分子の条件に入れるなども考慮できるが、軽微な場合は経過観察のみになることがある、確認のためのレントゲンと区別がつきにくいと考えられ、現在の定義では条件に含めていない

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

指標番号:

QIP: 2117

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

意義: 誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされる。咽頭ファイバースコープや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 誤嚥性肺炎患者数

分子: 分母のうち「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
計測期間において様式1の主病名、入院契機傷病名、医療資源傷病名、医療資源2傷病名、入院時併存症、入院後発症疾患の項目のいずれかに「J690 固形物及び液状物による肺臓炎（ただし、「疑い」は除く）」が記載されている退院患者を抽出し、実患者数を分母とする。
- 2 :  
1のうち、様式1の「入院時意識障害がある場合のJCS」が20以上の患者は除外する。
- 3 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
分母のうち、EFファイルを参照し、計測期間中に以下のいずれかの算定があった実患者を抽出し、分子とする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	診療行為名称	2010	2012	2014	2016	2018
160092410	E F - 喉頭	○	○	○	○	○
170028510	造影剤注入（嚥下造影）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
病名の入力精度に値が依存する。

2 :  
過剰な侵襲的検査を誘発する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :  
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3・Ver3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（冠動脈バイパス手術）

指標番号:

QIP: 2119\_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（冠動脈バイパス手術）

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（冠動脈バイパス手術）

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150145910	冠動脈、大動脈バイパス移植術（ 1 吻合）
150146010	冠動脈、大動脈バイパス移植術（ 2 吻合以上）
150318410	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（ 1 吻合）
150318510	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（ 2 吻合以上）

分子の定義:

1 :  
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。  
(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月4日を検索）  
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016

6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシNB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシ	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○

6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○

6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○

6179001	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○



6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。

- 2 :  
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することもある。
- 4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（そのほかの心臓手術）

指標番号:

QIP: 2119\_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率（そのほかの心臓手術）

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（そのほかの心臓手術）

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150317510	同種死体肺移植術
150319010	心室中隔穿孔閉鎖術（単独）
150319110	心室中隔穿孔閉鎖術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150141010	弁形成術（1弁）
150279510	弁形成術（2弁）
150279610	弁形成術（3弁）
150141410	弁置換術（1弁）
150141610	弁置換術（2弁）
150141710	弁置換術（3弁）
150387210	経カテーテル大動脈弁置換術（経心尖大動脈弁置換術）
150387310	経カテーテル大動脈弁置換術（経皮的動脈弁置換術）
150143610	大動脈弁狭窄直視下切開術

150143710	大動脈弁上狭窄手術
150143810	大動脈弁下狭窄切除術
150141510	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術
150292910	口ス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）
150381650	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時、弁置換・形成）
150381750	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時、弁・基部置換）
150381850	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時、弁温存置換術）
150346410	経皮的な大動脈形成術
150320310	三尖弁手術（エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術）
150142910	肺動脈狭窄症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150320510	純型肺動脈弁閉鎖症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150346510	経皮的な肺動脈形成術
150145110	肺静脈還流異常症手術（部分肺静脈還流異常）
150376210	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（心臓型）
150376310	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（その他）
150139610	心房中隔欠損作成術（経皮的な心房中隔欠損作成術（ラシュキンンド法））
150142410	心房中隔欠損作成術（心房中隔欠損作成術）
150141810	心房中隔欠損閉鎖術（単独）
150141910	心房中隔欠損閉鎖術（肺動脈弁狭窄を合併する）
150320610	経皮的な心房中隔欠損閉鎖術
150142050	三心房心手術
150142110	心室中隔欠損閉鎖術（単独）
150142210	心室中隔欠損閉鎖術（肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴う）
150142310	心室中隔欠損閉鎖術（大動脈弁形成を伴う）
150142810	心室中隔欠損閉鎖術（右室流出路形成を伴う）
150144010	バルサルバ洞動脈瘤手術（単独）
150320710	バルサルバ洞動脈瘤手術（大動脈閉鎖不全症手術を伴う）
150147410	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖術（単独））
150147510	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖及び弁形成術）
150320810	完全型房室中隔欠損症手術（心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150320910	完全型房室中隔欠損症手術（ファロー四徴症手術を伴う）
150146510	ファロー四徴症手術（右室流出路形成術を伴う）
150146610	ファロー四徴症手術（末梢肺動脈形成術を伴う）
150146910	両大血管右室起始症手術（単独）

150146810	両大血管右室起始症手術（右室流出路形成を伴う）
150321310	両大血管右室起始症手術（タウシッヒ・ビング奇形手術）
150142510	大血管転位症手術（マスタートド・セニング手術）
150145310	大血管転位症手術（ジャテーン手術）
150139510	大血管転位症手術（心室中隔欠損閉鎖術を伴う）
150147010	大血管転位症手術（ラステリ手術を伴う）
150321410	修正大血管転位症手術（心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150321510	修正大血管転位症手術（根治手術（ダブルスイッチ手術））
150147310	総動脈幹症手術
150141310	三尖弁閉鎖症手術（両方向性グレン手術）
150321910	単心室症手術（フォンタン手術）
150146710	単心室症手術（心室中隔造成術）
150321710	三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）

## 分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月4日を検索）

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

### 分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○

6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○

6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフトジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○

6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○



6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○

6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :  
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することもある。
- 4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術)

指標番号:

QIP: 2118\_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（股関節人工骨頭置換術）

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050410	人工関節置換術（股）
150049510	人工骨頭挿入術（股）

分子の定義:

1 :  
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。  
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索）  
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○

6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシNB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○

6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○

6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○

6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○

6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。

2 :

術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。



3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することもある。

4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術)

指標番号:

QIP: 2118\_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（膝関節置換術）

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050510	人工関節置換術（膝）

分子の定義:

1 :  
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。  
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索）  
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○

6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○

6132010	セフロキシム アキシテル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキシテル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキシテル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○

6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナISTアチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ボリコナゾール	○	○	○	○

6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○

6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :  
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類

を限定せず計測することも考えられる。

4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21



名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術)

指標番号:

QIP: 2118\_5

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（血管手術）

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :

下記に該当する手術を分母とする。

#### 分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150319610	D K S 吻合を伴う大動脈狭窄症手術
150244910	大動脈瘤切除術（上行）（弁置換術又は形成術）
150245010	大動脈瘤切除術（上行）（その他）
150359510	大動脈瘤切除術（上行）（人工弁置換を伴う基部置換術）
150359610	大動脈瘤切除術（上行）（自己弁温存型基部置換術）
150150010	大動脈瘤切除術（弓部）
150275910	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（その他）
150359710	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（弁置換術又は形成術）
150359810	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（人工弁置換を伴う基部置換術）
150359910	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（自己弁温存型基部置換術）
150150110	大動脈瘤切除術（下行）
150264810	大動脈瘤切除術（胸腹部大動脈）

150245110	大動脈瘤切除術（腹部大動脈（分枝血管の再建））
150245210	大動脈瘤切除術（腹部大動脈（その他））
150149410	動脈血栓内膜摘出術（大動脈に及ぶ）
150151150	内シャント設置術
150151250	外シャント設置術
150151710	末梢動静脈瘻造設術
150360510	血管移植術、バイパス移植術（下腿、足部動脈）

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索）

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

#### 分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○

6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○

6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○

6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○

6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○

6419101	アトバコン・プロゲアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :  
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測すること考えられる。
- 4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術)

指標番号:

QIP: 2118\_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（大腸手術）

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150180110	腸切開術
150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
150182150	ピックレル氏手術
150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術
150184110	腸吻合術
150184710	腸狭窄部切開縫合術
150184810	腸閉鎖症手術（腸管切除を伴わない）
150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術



150186010	先天性巨大結腸症手術
150325110	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術
150187110	直腸切除・切断術（切除術）
150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門の結腸囊肛門吻合）
150187210	直腸切除・切断術（切断術）
150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索）

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

#### 分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○

6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシシンB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキシセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキシセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○

6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○

6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○

6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○

6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :  
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することもある。
- 4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術)

指標番号:

QIP: 2118\_4

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数（子宮全摘除術）

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :  
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150217510	子宮全摘術
150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術

分子の定義:

1 :  
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。  
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索）  
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○

6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシNB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○



6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○

6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○

6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○

6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :  
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :

術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。

3 :  
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することもある。

4 :  
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

1 :  
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）

指標番号:

QIP: 2048

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）

意義: 薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 入院症例数

分子: 分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :  
薬剤指導管理実施の算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113010710	薬剤管理指導料 1（救命救急入院料等算定患者）	○	○	○	○	
113010810	薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者）	○	○	○	○	○
120001610	薬剤管理指導料	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
薬剤管理指導料は、算定には特定の施設基準を満たしている必要があり、実施が「●」の施設は、未実施という意味ではない可能性が高い（これらの施設件数も比較には参考となると考えられるため、表・グラフには、0の施設も併記はする）。必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。分子の薬剤管理指導は、特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合以外も含め、管理指導が実施の有無の計測を主旨とする。指標としては、このほかに、実施回数を考慮したものが考えられる。

参考値:

参考資料:

1 :  
日本医療・病院管理学会誌49(4)195-203

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率

指標番号:

QIP: 2120

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率

意義: 服薬指導により薬物療法に対する安全性や有用性を患者が認識すれば、アドヒアランスの向上(患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定にそって治療を受けること)に繋がると期待される。

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 特に安全管理が必要な医薬品として、別表に定める医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数

分子: 分母のうち薬剤管理指導料が算定された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
計測期間において、EF ファイルおよびレセプト（入院）の診療行為レコードを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかが処方された患者を抽出し、分母とする。

分母のデータ1

薬価基準コード 7桁	成分名
1124003	ニトラゼパム
1124701	ジアゼパム
1125003	フェノバルビタール
1125004	フェノバルビタール
1125402	フェノバルビタール
1125700	フェノバルビタールナトリウム
1126001	臭化カリウム
1126002	臭化ナトリウム
1131001	アセチルフェネトライド
1132001	エトトイン
1132002	フェニトイン



1132400	フェニトインナトリウム
1132401	ホスフェニトインナトリウム水和物
1133002	トリメタジオン
1135002	ブリミドン
1137001	スルチアム
1139001	エトスクシミド
1139002	カルバマゼピン
1139003	クロナゼパム
1139004	バルプロ酸ナトリウム
1139005	ゾニサミド
1139006	クロバザム
1139007	ガバペンチン
1139008	トピラマート
1139009	ラモトリギン
1139010	レベチラセタム
1139011	スチリペントール
1139012	ルフィナミド
1139013	ビガバトリン
1139014	ペランパネル水和物
1139015	ラコサミド
1139100	フェニトイン・フェノバルビタール
1139103	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139104	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139105	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139400	フェノバルビタールナトリウム
1139401	ミダゾラム
1139402	レベチラセタム
1143001	アスピリン
1171001	クロルプロマジン塩酸塩
1171005	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩
1171400	クロルプロマジン塩酸塩
1172004	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩
1172005	プロペリシアジン
1172006	ペルフェナジン

1172007	ペルフェナジン
1172009	フルフェナジンマレイン酸塩
1172010	プロクロルペラジンマレイン酸塩
1172013	ペルフェナジンマレイン酸塩
1172014	レボメプロマジンマレイン酸塩
1172402	塩酸ペルフェナジン
1172403	レボメプロマジン塩酸塩
1172404	プロクロルペラジン
1172405	フルフェナジンデカン酸エステル
1174002	クロミブラミン塩酸塩
1174004	ロフェブラミン塩酸塩
1174005	トリミブラミンマレイン酸塩
1174006	イミブラミン塩酸塩
1174401	クロミブラミン塩酸塩
1179001	アモキサピン
1179002	アミトリプチリン塩酸塩
1179004	ノルトリプチリン塩酸塩
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩
1179006	ピパンペロン塩酸塩
1179008	マプロチリン塩酸塩
1179009	メチルフェニデート塩酸塩
1179011	オキシペルチン
1179012	クロチアゼパム
1179015	スピペロン
1179016	スルピリド
1179017	炭酸リチウム
1179019	ヒドロキシジンパモ酸塩
1179020	ハロペリドール
1179022	ピモジド
1179023	ペモリン
1179024	ゾテピン
1179025	エチゾラム
1179026	チミペロン
1179027	ドスレピン塩酸塩

1179028	ブロムペリドール
1179030	クロカプラミン塩酸塩水和物
1179032	スルトプリド塩酸塩
1179033	ミアンセリン塩酸塩
1179034	セチプチリンマレイン酸塩
1179035	モサプラミン塩酸塩
1179036	ネモナプリド
1179037	トラゾドン塩酸塩
1179038	リスペリドン
1179039	フルボキサミンマレイン酸塩
1179040	ミルナシプラン塩酸塩
1179041	パロキセチン塩酸塩水和物
1179042	クエチアピンフマル酸塩
1179043	ペロスピロン塩酸塩水和物
1179044	オランザピン
1179045	アリピプラゾール
1179046	塩酸セルトラリン
1179047	モダフィニル
1179048	ブロナンセリン
1179049	クロザピン
1179050	アトモキセチン塩酸塩
1179051	ミルタザピン
1179052	糖尿病用剤
1179053	パリペリドン
1179054	エスシタロプラムシュウ酸塩
1179055	ベンラファキシン塩酸塩
1179056	アセナピンマレイン酸塩
1179057	グアンファシン塩酸塩
1179058	ブレクスピプラゾール
1179401	ヒドロキシジン塩酸塩
1179403	スルピリド
1179404	ハロペリドール
1179405	チミペロン
1179406	ハロペリドールデカン酸エステル

1179407	リスペリドン
1179408	オランザピン
1179409	パリペリドンパルミチン酸エステル
1179410	アリピプラゾール水和物
1214401	リドカイン
1214404	リドカイン
1242008	アトロピン硫酸塩水和物
1242405	アトロピン硫酸塩水和物
1242406	アトロピン硫酸塩水和物
2113001	ジギトキシン
2113003	ジゴキシン
2113004	ジゴキシン
2113005	メチルジゴキシン
2113006	ラナトシドC
2113400	ジゴキシン
2113401	デスラノシド
2115001	アミノフィリン水和物
2115002	アミノフィリン水和物
2115400	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2115404	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2119002	d l - イソプレナリン塩酸塩
2119400	l - イソプレナリン塩酸塩
2121001	プロカインアミド塩酸塩
2121400	プロカインアミド塩酸塩
2122001	キニジン硫酸塩水和物
2122002	キニジン硫酸塩水和物
2123001	アセブトロール塩酸塩
2123005	カルテオロール塩酸塩
2123006	ブフェトロール塩酸塩
2123008	プロプラノロール塩酸塩
2123009	ピンドロール
2123011	アテノロール
2123014	アロチノロール塩酸塩
2123015	ナドロール

2123016	ビスプロロールフマル酸塩
2123402	プロプラノロール塩酸塩
2123404	ランジオロール塩酸塩
2123405	エスモロール塩酸塩
2129002	ジソピラミド
2129003	メキシレチン塩酸塩
2129004	アプリンジン塩酸塩
2129005	リン酸ジソピラミド
2129006	プロパフェノン塩酸塩
2129007	シベンゾリンコハク酸塩
2129008	ピルシカイニド塩酸塩水和物
2129009	フレカイニド酢酸塩
2129010	アミオダロン塩酸塩
2129011	ベプリジル塩酸塩水和物
2129012	ピルメノール塩酸塩水和物
2129013	ソタロール塩酸塩
2129401	リン酸ジソピラミド
2129402	ベラパミル塩酸塩
2129403	メキシレチン塩酸塩
2129404	アプリンジン塩酸塩
2129405	シベンゾリンコハク酸塩
2129406	フレカイニド酢酸塩
2129407	ニフェカラント塩酸塩
2129408	ピルシカイニド塩酸塩水和物
2129409	塩酸リドカイン
2129410	アミオダロン塩酸塩
2134001	アセタゾラミド
2134002	アセタゾラミド
2134400	アセタゾラミドナトリウム
2149010	メトプロロール酒石酸塩
2149032	カルベジロール
2160400	フェニレフリン塩酸塩
2171008	ベラパミル塩酸塩
2171010	ジピリダモール

2171405	ジルチアゼム塩酸塩
2251001	テオフィリン
2329009	スルピリド
2329401	スルピリド
2355002	硫酸マグネシウム水和物
2399016	ブデソニド
2399402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2399403	インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続１〕
2399404	インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続２〕
2399716	ブデソニド
2411401	酢酸テトラコサクチド亜鉛
2452001	コルチゾン酢酸エステル
2452002	ヒドロコルチゾン
2452003	フルドロコルチゾン酢酸エステル
2452400	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム
2452402	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム
2454002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2454003	トリアムシノロン
2454004	ベタメタゾン
2454402	トリアムシノロンアセトニド
2454404	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム
2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム
2454407	デキサメタゾンパルミチン酸エステル
2454408	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム
2454700	ベタメタゾン
2454701	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム
2456001	プレドニゾロン
2456002	プレドニゾロン
2456003	メチルプレドニゾロン
2456400	メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム
2456402	メチルプレドニゾロン酢酸エステル
2456405	プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム
2456700	プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム
2459100	ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩

2462001	メチルテストステロン
2474001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2492403	糖尿病用剤
2492413	糖尿病用剤
2492414	糖尿病用剤
2492415	糖尿病用剤
2492416	糖尿病用剤
2492417	糖尿病用剤
2492418	糖尿病用剤
2492419	糖尿病用剤
2492420	インスリングラルギン（遺伝子組換え）〔インスリングラルギン後続１〕
2492421	インスリングラルギン（遺伝子組換え）〔インスリングラルギン後続２〕
2492500	インスリン デグルデク（遺伝子組換え）・インスリン アスパルト（遺伝子組換え）
2499003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499006	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499410	糖尿病用剤
2499411	糖尿病用剤
2499412	デガレリクス酢酸塩
2499415	糖尿病用剤
2499416	デュラグルチド（遺伝子組換え）
3229400	塩化カリウム
3229401	L - アスパラギン酸カリウム
3229500	アスパラギン酸カリウム・マグネシウム
3319402	カリウム製剤（注射）
3319406	リン酸二カリウム
3332001	ワルファリンカリウム
3339001	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
3339002	エドキサバントシル酸塩水和物
3339003	リバーロキサバン

3339004	アピキサバン
3399001	血液凝固阻止剤 チクロピジン
3399002	血液凝固阻止剤 シロスタゾール
3399007	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399008	血液凝固阻止剤 プラビックス
3399009	プラスゲレル塩酸塩
3399011	チカグレロル
3399100	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン
3399102	アスピリン・ランソプラゾール
3929004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3929407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3961001	糖尿病用剤
3961002	糖尿病用剤
3961003	糖尿病用剤
3961004	糖尿病用剤
3961006	糖尿病用剤
3961007	糖尿病用剤
3961008	糖尿病用剤
3962001	糖尿病用剤
3962002	糖尿病用剤
3969003	糖尿病用剤
3969004	糖尿病用剤
3969006	糖尿病用剤
3969007	糖尿病用剤
3969008	糖尿病用剤
3969009	糖尿病用剤
3969010	糖尿病用剤
3969011	糖尿病用剤
3969012	糖尿病用剤
3969013	糖尿病用剤
3969014	糖尿病用剤
3969015	糖尿病用剤
3969016	糖尿病用剤



3969017	糖尿病用剤
3969018	イブラグリフロジン L - プロリン
3969019	ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物
3969020	ルセオグリフロジン水和物
3969021	トホグリフロジン水和物
3969022	カナグリフロジン水和物
3969023	エンパグリフロジン
3969024	トレラグリプチンコハク酸塩
3969025	オマリグリプチン
3969100	糖尿病用剤
3969101	糖尿病用剤
3969102	糖尿病用剤
3969103	糖尿病用剤
3969104	ビルダグリプチン・メトホルミン塩酸塩
3969105	アログリプチン安息香酸塩・メトホルミン塩酸塩
3969106	テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物・カナグリフロジン水和物
3969107	シタグリプチンリン酸塩水和物・イブラグリフロジン L - プロリン
3999002	ミゾリビン
3999004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999005	アザチオプリン
3999014	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999016	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999017	ミコフェノール酸 モフェチル
3999020	レフルノミド
3999022	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999031	イグラチモド
3999034	トファシチニブクエン酸塩
3999043	バリシチニブ
3999406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999416	タクロリムス水和物
3999417	グスペリムス塩酸塩
3999418	パミドロン酸二ナトリウム水和物
3999423	ゾレドロン酸水和物
3999424	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

3999426	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999429	アバタセプト（遺伝子組換え）
3999433	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999435	デノスマブ（遺伝子組換え）
3999437	セルトリズマブ ペゴル（遺伝子組換え）
3999444	サリルマブ（遺伝子組換え）
3999448	エタネルセプト（遺伝子組換え）〔エタネルセプト後続 1〕
4211002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219406	ストレプトゾシン
4219700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4221001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223005	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223701	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

4224001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229100	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229101	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229404	プラトレキサート
4231400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4233400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4239400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4239401	イノツズマブ オゾガマイシン（遺伝子組換え）
4240001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

4240406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240409	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240410	カバジタキセル アセトン付加物
4291002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291005	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291006	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291007	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291009	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291010	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291011	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291012	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291013	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291014	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291015	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291016	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291017	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291018	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291019	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291020	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291021	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291022	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291023	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291024	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291025	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291026	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291027	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291028	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291029	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291030	アフアチニブマレイン酸塩
4291031	エンザルタミド

4291032	アレクチニブ塩酸塩
4291033	アビラテロン酢酸エステル
4291034	ルキシソリチニブリン酸塩
4291035	シロリムス
4291036	ボスチニブ水和物
4291037	ベムラフェニブ
4291038	ポマリドミド
4291039	レンバチニブメシル酸塩
4291040	パノビノスタット乳酸塩
4291041	バンデタニブ
4291042	ベキサロテン
4291043	イブルチニブ
4291044	セリチニブ
4291045	オシメルチニブメシル酸塩
4291046	ダブラフェニブメシル酸塩
4291047	トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物
4291048	ポナチニブ塩酸塩
4291049	イキサゾミブクエン酸エステル
4291050	フォロデシン塩酸塩
4291051	パルボシクリブ
4291052	オラパリブ
4291400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291409	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291410	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291412	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291413	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

4291414	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291415	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291416	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291417	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291418	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291419	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291420	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291421	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291422	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291423	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291424	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291425	ブレンツキシマブ ベドチン（遺伝子組換え）
4291426	トラスツズマブ エムタンシン（遺伝子組換え）
4291427	ニボルマブ（遺伝子組換え）
4291428	アレムツズマブ（遺伝子組換え）
4291429	ラムシルマブ（遺伝子組換え）
4291430	イピリムマブ（遺伝子組換え）
4291431	トラベクテジン
4291432	塩化ラジウム（ $^{223}\text{Ra}$ ）
4291433	カルフィルゾミブ
4291434	エロツズマブ（遺伝子組換え）
4291435	ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）
4291436	アフリベルセプト ベータ（遺伝子組換え）
4291437	ダラツムマブ（遺伝子組換え）
4291438	アベルマブ（遺伝子組換え）
4291439	リツキシマブ（遺伝子組換え）〔リツキシマブ後続 1〕
4291440	ロミデプシン
4291441	アテゾリズマブ（遺伝子組換え）
4291442	トラスツズマブ（遺伝子組換え）〔トラスツズマブ後続 1〕
4291443	デュルバルマブ（遺伝子組換え）
4291444	オビヌツズマブ（遺伝子組換え）
4291700	シロリムス
4299002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299003	アナグレリド塩酸塩水和物

4299100	トリフルリジン・チピラシル塩酸塩
4299400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4300003	ヨウ化ナトリウム（１３１Ｉ）
5200050	柴胡加竜骨牡蛎湯エキス
6250001	抗HIV薬
6250003	抗HIV薬
6250006	抗HIV薬
6250009	抗HIV薬
6250011	抗HIV薬
6250012	抗HIV薬
6250013	抗HIV薬
6250014	抗HIV薬
6250015	抗HIV薬
6250023	抗HIV薬
6250024	抗HIV薬
6250027	抗HIV薬
6250028	抗HIV薬
6250030	抗HIV薬
6250032	抗HIV薬
6250033	抗HIV薬
6250034	抗HIV薬
6250036	抗HIV薬
6250038	抗HIV薬
6250100	抗HIV薬
6250101	抗HIV薬
6250102	抗HIV薬
6250103	抗HIV薬
6250104	抗HIV薬
6250105	抗HIV薬
6250106	抗HIV薬

6250109	エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6250110	ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット
6250111	エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6250114	リルピビルン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6391700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399411	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399418	バシリキシマブ（遺伝子組換え）
6399420	ペグインターフェロンアルファ - 2 b（遺伝子組換え）
6399421	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399423	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
1179100	クロルプロマジン・プロメタジン
1179101	クロルプロマジン・プロメタジン
2123002	アルプレノロール塩酸塩
2454401	デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム
3399010	ルストロンボパグ
4299001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6250007	抗HIV薬
6250010	抗HIV薬
6250020	ラミブジン
6391701	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399410	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

分子の定義:

1 :

分母のうち薬剤管理指導料が算定された患者数

#### 分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
113010710	薬剤管理指導料 1	B0081	○	○	○	○	
113010810	薬剤管理指導料 2	B0082	○	○	○		
120001610	薬剤管理指導料 3	B0083	○	○	○		



113010810	薬剤管理指導料 1	B0081				○	○
120001610	薬剤管理指導料 2	B0082				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
分母で検索する薬剤は、「特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤一覧」として、これまでに対象となったものをすべて含める。このため、入院当時「加算の算定対象ではない」症例が分母に含まれるが、本指標で測定する分子は薬剤管理指導全般であり、薬剤師による何らかの介入があることが望ましいとして指標の設定を行っている。

2 :  
2018年9月に本指標を改訂して、薬剤の一覧に過去の薬剤についても薬価基準コードを用いて網羅させた。

参考値:

参考資料:

1 :  
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

指標番号:

QIP: 2079

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

意義: 積極的な栄養管理の介入

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の食事

分子: 分母のうち、特別食加算の算定

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :  
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :  
このうち、入院時併存症として糖尿病か慢性腎臓病が診断されている入院した症例。入院時併存症に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$～ E14\$	糖尿病
N03\$	慢性腎炎症候群
N04\$	ネフローゼ症候群
N18\$	慢性腎不全

- 4 :  
このうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病か慢性腎臓病が該当する症例は除外する（コードは上記と同一）
- 5 :  
上記にて抽出された症例に対して算定された食事回数を計測する。下記レセ電コードの算定回数

分母のデータ5

レセ電コー						
-------	--	--	--	--	--	--

ド	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197000110	入院時食事療養（１）（１食につき）	○	○	○	○	○
197000710	入院時食事療養（２）（１食につき）	○	○	○	○	○
197003110	入院時食事療養（１）（１食につき）（流動食のみを提供）				○	○
197003210	入院時食事療養（２）（１食につき）（流動食のみを提供）				○	○

6：  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：  
分母で抽出された症例に対し、特別食加算の算定された回数を計測する。

#### 分子のデータ1

レセ電コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
197000470	特別食加算（食事療養）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件：

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意：

1：  
EFファイルを利用する場合は、Fファイル相当のレコードのみ利用する。本指標は主に急性期医療の症例を対象とするため、下記は対象外としている

#### データ1

レセ電コード	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197001310	入院時生活療養（１）食事療養（１食につき）	○	○	○	○	○
197001710	入院時生活療養（２）食事療養（１食につき）	○	○	○	○	○

参考値:

参考資料:

1：  
<http://www.nutri.co.jp/nutrition/keywords/append/>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21



名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

指標番号:

QIP: 2121

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

意義: 周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることにつながる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1 は15 歳以上の患者、区分2 は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分 1	150009410	筋膜切離術
区分 1	150009510	筋膜切開術
区分 1	150009610	筋切離術
区分 1	150009710	股関節内転筋切離術
区分 1	150009810	股関節筋群解離術
区分 1	150009910	筋炎手術（腸腰筋）
区分 1	150010010	筋炎手術（殿筋）
区分 1	150010110	筋炎手術（大腿筋）
区分 1	150011110	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）
区分 1	150011210	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）
区分 1	150011410	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）

区分 1	150011810	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150011910	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150012110	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（足）
区分 1	150019210	骨折観血の手術（大腿）
区分 1	150019410	骨折観血の手術（下腿）
区分 1	150019610	骨折観血の手術（膝蓋骨）
区分 1	150019810	骨折観血の手術（足）
区分 1	150020710	骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）
区分 1	150021110	骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨）
区分 1	150021310	骨内異物（挿入物を含む）除去術（足）
区分 1	150021610	骨部分切除術（大腿）
区分 1	150021810	骨部分切除術（下腿）
区分 1	150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）
区分 1	150022210	骨部分切除術（足）
区分 1	150022710	腐骨摘出術（大腿）
区分 1	150022910	腐骨摘出術（下腿）
区分 1	150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）
区分 1	150024910	骨腫瘍切除術（大腿）
区分 1	150025110	骨腫瘍切除術（下腿）
区分 1	150025510	骨腫瘍切除術（足）
区分 1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）
区分 1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150026710	骨悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150026910	骨悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150027710	骨切り術（大腿）
区分 1	150027910	骨切り術（下腿）
区分 1	150028110	骨切り術（膝蓋骨）
区分 1	150028310	骨切り術（足）
区分 1	150028810	偽関節手術（大腿）
区分 1	150029010	偽関節手術（下腿）
区分 1	150029210	偽関節手術（膝蓋骨）
区分 1	150029410	偽関節手術（足）
区分 1	150032010	関節切開術（股）
区分 1	150032110	関節切開術（膝）

区分 1	150035310	関節脱臼観血の整復術（股）
区分 1	150035410	関節脱臼観血の整復術（膝）
区分 1	150035810	関節脱臼観血の整復術（足）
区分 1	150036310	関節内異物（挿入物）除去術（股）
区分 1	150036410	関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150036810	関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150037210	関節滑膜切除術（股）
区分 1	150037310	関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150037710	関節滑膜切除術（足）
区分 1	150038350	滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150038750	滑液膜摘出術（足）
区分 1	150040910	半月板切除術
区分 1	150041810	関節切除術（股）
区分 1	150041910	関節切除術（膝）
区分 1	150042310	関節切除術（足）
区分 1	150042710	関節内骨折観血の手術（股）
区分 1	150042810	関節内骨折観血の手術（膝）
区分 1	150043210	関節内骨折観血の手術（足）
区分 1	150043510	靱帯断裂縫合術（十字靱帯）
区分 1	150043610	靱帯断裂縫合術（膝側副靱帯）
区分 1	150045410	観血の関節授動術（膝）
区分 1	150045810	観血の関節授動術（足）
区分 1	150046210	観血の関節制動術（股）
区分 1	150046310	観血の関節制動術（膝）
区分 1	150047110	観血の関節固定術（股）
区分 1	150047210	観血の関節固定術（膝）
区分 1	150047610	観血の関節固定術（足）
区分 1	150047910	靱帯断裂形成手術（十字靱帯）
区分 1	150048010	靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）
区分 1	150048310	関節形成手術（股）
区分 1	150048410	関節形成手術（膝）
区分 1	150048810	関節形成手術（足）
区分 1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分 1	150050010	人工骨頭挿入術（足）

区分 1	150050410	人工関節置換術（股）
区分 1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分 1	150050910	人工関節置換術（足）
区分 1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分 1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分 1	150051810	四肢切断術（足）
区分 1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分 1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分 1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分 1	150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
区分 1	150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
区分 1	150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
区分 1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分 1	150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
区分 1	150059310	脊椎骨搔爬術
区分 1	150059410	骨盤骨搔爬術
区分 1	150059810	脊椎、骨盤脱臼靦血の手術
区分 1	150060210	仙腸関節脱臼靦血の手術
区分 1	150060310	恥骨結合離開靦血の手術
区分 1	150060810	腸骨翼骨折靦血の手術
区分 1	150060910	骨盤骨折靦血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分 1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分 1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分 1	150062910	黄色靱帯骨化症手術
区分 1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分 1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分 1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分 1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分 1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分 1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分 1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分 1	150064210	骨盤切断術
区分 1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）
区分 1	150064510	脊椎披裂手術（その他）



区分 1	150064610	脊椎骨切り術
区分 1	150064710	骨盤骨切り術
区分 1	150064810	臼蓋形成手術
区分 1	150066110	仙腸関節固定術
区分 1	150067210	試験開頭術
区分 1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上
区分 1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分 1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分 1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分 1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分 1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分 1	150068310	脳切截術（開頭）
区分 1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分 1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分 1	150068610	視神経管開放術
区分 1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分 1	150068850	顔面神経管開放術
区分 1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分 1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分 1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分 1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分 1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分 1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分 1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分 1	150069850	脳血管塞栓摘出術
区分 1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分 1	150070010	脳内異物摘出術
区分 1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分 1	150070210	頭蓋内腫瘤摘出術
区分 1	150070310	脳切除術
区分 1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分 1	150071010	経鼻的下垂体腫瘍摘出術
区分 1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分 1	150071310	脳・脳膜脱手術

区分 1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分 1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分 1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分 2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分 2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分 2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分 2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分 2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150124150	胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150124710	試験開胸術
区分 2	150127350	試験的開胸開腹術
区分 2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分 2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分 2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分 2	150129810	肺切除術（区域切除（１肺葉に満たない））
区分 2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分 2	150130010	肺切除術（複合切除（１肺葉を超える））
区分 2	150130110	肺切除術（１側肺全摘）
区分 2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分 2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分 2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分 2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分 2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分 2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分 2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分 2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分 2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分 2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分 2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分 2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分 2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分 2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分 2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）

区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜シラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜シラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜シラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）
区分2	150166110	胃全摘術（単純全摘術）
区分2	150168010	胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む））
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）
区分2	150171310	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術（胆管切除術を含む）
区分2	150176110	肝内結石摘出術（開腹）
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術（開腹）

区分 2	150177410	肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）
区分 2	150178110	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除）
区分 2	150178210	脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150178410	脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）
区分 2	150178710	脾全摘術
区分 2	150179010	脾嚢胞胃（腸）吻合術
区分 2	150179110	脾管空腸吻合術
区分 2	150179310	脾嚢胞外瘻造設術（開腹）
区分 2	150179710	脾縫合術（部分切除を含む）
区分 2	150179810	脾摘出術
区分 2	150180010	破裂腸管縫合術
区分 2	150180110	腸切開術
区分 2	150180210	腸管癒着症手術
区分 2	150180350	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）
区分 2	150180550	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）
区分 2	150180650	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 2	150180750	腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）
区分 2	150180850	腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）
区分 2	150180950	腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分 2	150181110	腸重積症整復術（観血的）
区分 2	150181210	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）
区分 2	150181710	結腸切除術（小範囲切除）
区分 2	150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
区分 2	150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分 2	150183110	結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）
区分 2	150183510	結腸ポリープ切除術（開腹）
区分 2	150184110	腸吻合術
区分 2	150187110	直腸切除・切断術（切除術）
区分 2	150187210	直腸切除・切断術（切断術）
区分 2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分 2	150193010	腎破裂縫合術
区分 2	150193150	腎破裂手術
区分 2	150194610	腎部分切除術

区分 2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150195010	腎摘出術
区分 2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（１歳以上）
区分 2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分 2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分 1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分 1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分 1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分 1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分 1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分 1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分 1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分 1	150217510	子宮全摘術
区分 1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分 1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分 1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分 1	150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
区分 1	150219410	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分 1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分 1	150219710	卵巣部分切除術（開腹）
区分 1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分 1	150220010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分 1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220250	卵管腫瘤全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分 1	150220710	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）
区分 1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
区分 1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分 1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分 1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分 1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分 1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分 1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロ一手術）

区分 1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分 1	150243210	体外式脊椎固定術
区分 1	150243410	脳動脈瘤被包術（１箇所）
区分 1	150243510	脳動脈瘤被包術（２箇所以上）
区分 1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（１箇所）
区分 1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（２箇所以上）
区分 1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（１箇所）
区分 1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（２箇所以上）
区分 1	150245310	骨盤内臓全摘術
区分 2	150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分 2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分 2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髓質腫瘍（褐色細胞腫））
区分 2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管Ｓ状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分 2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分 2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分 2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分 2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分 1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分 1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分 1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分 1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分 1	150261910	半月板縫合術
区分 2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分 2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分 2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分 1	150264610	子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分 1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分 2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分 1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分 1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）

区分 1	150270010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分 2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分 2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分 2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分 2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分 2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分 2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分 1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髓核摘出術）
区分 2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分 2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分 2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分 2	150277410	脾体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150277510	脾体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分 2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分 1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分 1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
区分 2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分 1	150282510	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）
区分 1	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分 1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分 1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分 1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分 1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分 1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分 1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分 1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分 2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分 2	150296910	脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297010	脾頭部腫瘍切除術（十二指腸温存脾頭切除術）
区分 2	150297110	脾頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297210	脾頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）

区分 2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150297410	結腸憩室摘出術
区分 2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門の結腸囊肛門吻合）
区分 2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分 2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分 1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巢焼灼術
区分 1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分 1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分 2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分 1	150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
区分 1	150308610	四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（軀幹）
区分 1	150308710	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（軀幹）
区分 1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分 1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分 1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分 1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分 1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分 1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分 1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分 1	150313310	関節鏡下靱帯断裂縫合術（十字靱帯）
区分 1	150313710	関節鏡下靱帯断裂形成手術（十字靱帯）
区分 1	150313810	関節鏡下靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）
区分 1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分 1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分 1	150314510	寛骨臼移動術
区分 1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）
区分 1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分 1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分 2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分 2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）



区分 2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分 2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分 2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分 2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除を伴う）
区分 2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分 2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分 2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分 2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分 2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分 2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分 2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分 2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150327210	腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術
区分 2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分 2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分 2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分 1	150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症）
区分 1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分 2	150336810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分 2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分 2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分 2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分 2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分 2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分 2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分 2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分 2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分 2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分 1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）

区分 1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分 1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分 2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分 2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分 2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分 2	150348410	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾温存）
区分 1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は 3 2 週未満の早産）
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血的手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血的手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靱帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靱帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）

区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（ 1 区域切除（外側区域切除を除く））（ 1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（ 2 区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（ 3 区域切除以上）（ 1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（ 2 区域切除以上で血行再建）（ 1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下痔体尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術
区分 2	150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
区分 2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分 2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分 2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分 2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分 2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分 2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分 2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分 1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分 1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分 2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

2 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。

2 :  
(ア) 以下の算定があった患者

分子のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113006910	肺血栓塞栓症予防管理料	○	○	○	○	○

3 :  
(イ) 抗凝固療法〔以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの〕が行われた患者

分子のデータ3

薬価基準コード	名称
3332\$	ワルファリンカリウム
3334400\$	ヘパリンカルシウム
3334401\$	ヘパリンナトリウム
3334402\$	ヘパリンナトリウム
3334406\$	エノキサパリンナトリウム
3339001\$	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
3339002\$	エドキサバントシル酸塩水和物
3339003\$	リバーロキサバン
3339004\$	アピキサバン
3339400\$	フォンダパリヌクスナトリウム

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :  
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :  
The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3a  
SCIP-VTE-2 Surgery Patients Who Received Appropriate Venous Thromboembolism Prophylaxis Within 24  
Hours Prior to Surgery to 24 Hours After

Surgery([http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM\\_v4\\_3a\\_PDF\\_10\\_2\\_2013.zip](http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM_v4_3a_PDF_10_2_2013.zip))

3 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

指標番号:

QIP: 2122

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

意義: 深部静脈血栓症の危険因子には、加齢、悪性腫瘍、肥満や妊娠、長期臥床など、周術期以外の場面でも発症するリスクがある。ガイドライン通りに予防措置を行ったとしても、肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症を完全に予防できるわけではないが、予防する行為を行っていないければ、その発症率は高まる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :  
計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1 は15 歳以上の患者、区分2 は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分 1	150009410	筋膜切離術
区分 1	150009510	筋膜切開術
区分 1	150009610	筋切離術
区分 1	150009710	股関節内転筋切離術
区分 1	150009810	股関節筋群解離術
区分 1	150009910	筋炎手術（腸腰筋）
区分 1	150010010	筋炎手術（殿筋）
区分 1	150010110	筋炎手術（大腿筋）
区分 1	150011110	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）
区分 1	150011210	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）
区分 1	150011410	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）

区分 1	150011810	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150011910	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150012110	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（足）
区分 1	150019210	骨折観血の手術（大腿）
区分 1	150019410	骨折観血の手術（下腿）
区分 1	150019610	骨折観血の手術（膝蓋骨）
区分 1	150019810	骨折観血の手術（足）
区分 1	150020710	骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）
区分 1	150021110	骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨）
区分 1	150021310	骨内異物（挿入物を含む）除去術（足）
区分 1	150021610	骨部分切除術（大腿）
区分 1	150021810	骨部分切除術（下腿）
区分 1	150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）
区分 1	150022210	骨部分切除術（足）
区分 1	150022710	腐骨摘出術（大腿）
区分 1	150022910	腐骨摘出術（下腿）
区分 1	150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）
区分 1	150024910	骨腫瘍切除術（大腿）
区分 1	150025110	骨腫瘍切除術（下腿）
区分 1	150025510	骨腫瘍切除術（足）
区分 1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）
区分 1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150026710	骨悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150026910	骨悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150027710	骨切り術（大腿）
区分 1	150027910	骨切り術（下腿）
区分 1	150028110	骨切り術（膝蓋骨）
区分 1	150028310	骨切り術（足）
区分 1	150028810	偽関節手術（大腿）
区分 1	150029010	偽関節手術（下腿）
区分 1	150029210	偽関節手術（膝蓋骨）
区分 1	150029410	偽関節手術（足）
区分 1	150032010	関節切開術（股）
区分 1	150032110	関節切開術（膝）

区分 1	150035310	関節脱臼靦血の整復術（股）
区分 1	150035410	関節脱臼靦血の整復術（膝）
区分 1	150035810	関節脱臼靦血の整復術（足）
区分 1	150036310	関節内異物（挿入物）除去術（股）
区分 1	150036410	関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150036810	関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150037210	関節滑膜切除術（股）
区分 1	150037310	関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150037710	関節滑膜切除術（足）
区分 1	150038350	滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150038750	滑液膜摘出術（足）
区分 1	150040910	半月板切除術
区分 1	150041810	関節切除術（股）
区分 1	150041910	関節切除術（膝）
区分 1	150042310	関節切除術（足）
区分 1	150042710	関節内骨折靦血の手術（股）
区分 1	150042810	関節内骨折靦血の手術（膝）
区分 1	150043210	関節内骨折靦血の手術（足）
区分 1	150043510	靦帯断裂縫合術（十字靦帯）
区分 1	150043610	靦帯断裂縫合術（膝側副靦帯）
区分 1	150045410	靦血の関節授動術（膝）
区分 1	150045810	靦血の関節授動術（足）
区分 1	150046210	靦血の関節制動術（股）
区分 1	150046310	靦血の関節制動術（膝）
区分 1	150047110	靦血の関節固定術（股）
区分 1	150047210	靦血の関節固定術（膝）
区分 1	150047610	靦血の関節固定術（足）
区分 1	150047910	靦帯断裂形成手術（十字靦帯）
区分 1	150048010	靦帯断裂形成手術（膝側副靦帯）
区分 1	150048310	関節形成手術（股）
区分 1	150048410	関節形成手術（膝）
区分 1	150048810	関節形成手術（足）
区分 1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分 1	150050010	人工骨頭挿入術（足）



区分 1	150050410	人工関節置換術（股）
区分 1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分 1	150050910	人工関節置換術（足）
区分 1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分 1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分 1	150051810	四肢切断術（足）
区分 1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分 1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分 1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分 1	150052950	化膿性又は結核性関節炎掻爬術（股）
区分 1	150053050	化膿性又は結核性関節炎掻爬術（膝）
区分 1	150053350	化膿性又は結核性関節炎掻爬術（足）
区分 1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分 1	150058910	腸骨窩膿瘍掻爬術
区分 1	150059310	脊椎骨掻爬術
区分 1	150059410	骨盤骨掻爬術
区分 1	150059810	脊椎、骨盤脱臼靦血の手術
区分 1	150060210	仙腸関節脱臼靦血の手術
区分 1	150060310	恥骨結合離開靦血の手術
区分 1	150060810	腸骨翼骨折靦血の手術
区分 1	150060910	骨盤骨折靦血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分 1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分 1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分 1	150062910	黄色靱帯骨化症手術
区分 1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分 1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分 1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分 1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分 1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分 1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分 1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分 1	150064210	骨盤切断術
区分 1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）
区分 1	150064510	脊椎披裂手術（その他）

区分 1	150064610	脊椎骨切り術
区分 1	150064710	骨盤骨切り術
区分 1	150064810	白蓋形成手術
区分 1	150066110	仙腸関節固定術
区分 1	150067210	試験開頭術
区分 1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上
区分 1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分 1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分 1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分 1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分 1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分 1	150068310	脳切截術（開頭）
区分 1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分 1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分 1	150068610	視神経管開放術
区分 1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分 1	150068850	顔面神経管開放術
区分 1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分 1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分 1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分 1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分 1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分 1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分 1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分 1	150069850	脳血管塞栓摘出術
区分 1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分 1	150070010	脳内異物摘出術
区分 1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分 1	150070210	頭蓋内腫瘍摘出術
区分 1	150070310	脳切除術
区分 1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分 1	150071010	経鼻的下垂体腫瘍摘出術
区分 1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分 1	150071310	脳・脳膜脱手術

区分 1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分 1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分 1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分 2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分 2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分 2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分 2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分 2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150124150	胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150124710	試験開胸術
区分 2	150127350	試験的開胸開腹術
区分 2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分 2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分 2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分 2	150129810	肺切除術（区域切除（１肺葉に満たない））
区分 2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分 2	150130010	肺切除術（複合切除（１肺葉を超える））
区分 2	150130110	肺切除術（１側肺全摘）
区分 2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分 2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分 2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分 2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分 2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分 2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分 2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分 2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分 2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分 2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分 2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分 2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分 2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分 2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分 2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）

区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜シラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜シラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜シラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）
区分2	150166110	胃全摘術（単純全摘術）
区分2	150168010	胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む））
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）
区分2	150171310	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術（胆管切除術を含む）
区分2	150176110	肝内結石摘出術（開腹）
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術（開腹）

区分 2	150177410	肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）
区分 2	150178110	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除）
区分 2	150178210	脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150178410	脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）
区分 2	150178710	脾全摘術
区分 2	150179010	脾嚢胞胃（腸）吻合術
区分 2	150179110	脾管空腸吻合術
区分 2	150179310	脾嚢胞外瘻造設術（開腹）
区分 2	150179710	脾縫合術（部分切除を含む）
区分 2	150179810	脾摘出術
区分 2	150180010	破裂腸管縫合術
区分 2	150180110	腸切開術
区分 2	150180210	腸管癒着症手術
区分 2	150180350	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）
区分 2	150180550	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）
区分 2	150180650	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 2	150180750	腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）
区分 2	150180850	腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）
区分 2	150180950	腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分 2	150181110	腸重積症整復術（観血的）
区分 2	150181210	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）
区分 2	150181710	結腸切除術（小範囲切除）
区分 2	150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
区分 2	150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分 2	150183110	結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）
区分 2	150183510	結腸ポリープ切除術（開腹）
区分 2	150184110	腸吻合術
区分 2	150187110	直腸切除・切断術（切除術）
区分 2	150187210	直腸切除・切断術（切断術）
区分 2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分 2	150193010	腎破裂縫合術
区分 2	150193150	腎破裂手術
区分 2	150194610	腎部分切除術

区分 2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150195010	腎摘出術
区分 2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（１歳以上）
区分 2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分 2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分 1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分 1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分 1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分 1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分 1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分 1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分 1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分 1	150217510	子宮全摘術
区分 1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分 1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分 1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分 1	150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
区分 1	150219410	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分 1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分 1	150219710	卵巣部分切除術（開腹）
区分 1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分 1	150220010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分 1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分 1	150220710	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）
区分 1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
区分 1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分 1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分 1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分 1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分 1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分 1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロ一手術）

区分 1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分 1	150243210	体外式脊椎固定術
区分 1	150243410	脳動脈瘤被包術（１箇所）
区分 1	150243510	脳動脈瘤被包術（２箇所以上）
区分 1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（１箇所）
区分 1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（２箇所以上）
区分 1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（１箇所）
区分 1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（２箇所以上）
区分 1	150245310	骨盤内臓全摘術
区分 2	150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分 2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分 2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髓質腫瘍（褐色細胞腫））
区分 2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管Ｓ状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分 2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分 2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分 2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分 2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分 1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分 1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分 1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分 1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分 1	150261910	半月板縫合術
区分 2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分 2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分 2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分 1	150264610	子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分 1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分 2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分 1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分 1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分 1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）

区分 1	150270010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分 2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分 2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分 2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分 2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分 2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分 2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分 1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分 1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髓核摘出術）
区分 2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分 2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分 2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分 2	150277410	脾体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150277510	脾体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分 2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分 1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分 1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
区分 2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分 1	150282510	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）
区分 1	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分 1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分 1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分 1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分 1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分 1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分 1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分 1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分 2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分 2	150296910	脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297010	脾頭部腫瘍切除術（十二指腸温存脾頭切除術）
区分 2	150297110	脾頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297210	脾頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）



区分 2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150297410	結腸憩室摘出術
区分 2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門の結腸囊肛門吻合）
区分 2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分 2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分 1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巢焼灼術
区分 1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分 1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分 2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分 1	150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
区分 1	150308610	四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術（軀幹）
区分 1	150308710	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術（軀幹）
区分 1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分 1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分 1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分 1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分 1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分 1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分 1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分 1	150313310	関節鏡下靱帯断裂縫合術（十字靱帯）
区分 1	150313710	関節鏡下靱帯断裂形成手術（十字靱帯）
区分 1	150313810	関節鏡下靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）
区分 1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分 1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分 1	150314510	寛骨臼移動術
区分 1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）
区分 1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分 1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分 2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分 2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）

区分 2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分 2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分 2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分 2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除を伴う）
区分 2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分 2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分 2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分 2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分 2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分 2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分 2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分 2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150327210	腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術
区分 2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分 2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分 2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分 1	150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症）
区分 1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分 2	150336810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分 2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分 2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分 2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分 2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分 2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分 2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分 2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分 2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分 2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分 1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）

区分 1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分 1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分 2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分 2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分 2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分 2	150348410	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾温存）
区分 1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は 3 2 週未満の早産）
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血的手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血的手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靱帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靱帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）

区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（ 1 区域切除（外側区域切除を除く））（ 1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（ 2 区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（ 3 区域切除以上）（ 1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（ 2 区域切除以上で血行再建）（ 1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術
区分 2	150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
区分 2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分 2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分 2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分 2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分 2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分 2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分 2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分 1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分 1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分 2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

2 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

分母のうち、様式 1 の入院後発症疾患名に「肺塞栓症 (I26)」が記載されている患者を抽出し、分子とする。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :

肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（ 静脈血栓塞栓症） 予防ガイドライン

3 :

The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3b  
VTE-6 Incidence of Potentially-Preventable Venous  
Thromboembolism([http://www.jointcommission.org/assets/1/6/HIQR\\_Jan2014\\_v4\\_3b.zip](http://www.jointcommission.org/assets/1/6/HIQR_Jan2014_v4_3b.zip))

4 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

指標番号:

QIP: 2124

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-26

指標群: 感染症

名称: 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

意義: 広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

分子: 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

分母のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
抗MRSA経口薬	6249002	リネゾリド	○	○	○	○	○
抗MRSA経口薬	6249003	テジゾリドリン酸エステル					○
抗MRSA注射薬	6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119401	テイコプラニン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119402	ダブトマイシン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6249401	リネゾリド			○	○	○
抗MRSA注射薬	6249402	テジゾリドリン酸エステル					○
カルバペネム系注射薬	6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139401	ビアペネム	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○	○

カルバペネム系 注射薬	6139501	イミペネム水和物・シラス チンナトリウム	○	○	○	○	○
カルバペネム系 注射薬	6139503	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○	○
ニューキノロン 系注射薬	6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○	○
ニューキノロン 系注射薬	6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○	○
ニューキノロン 系注射薬	6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○	○

分子の定義:

1:

分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日に、血液培養の実施があれば分子1とする。

#### 分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	細菌培養同定検査（血液）	D018-3	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した

2:

本定義では、広域抗菌薬を「抗MRSA薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018年度の定義の見直し時）

参考値:

参考資料:

1:

抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会  
[http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708\\_ASP\\_guidance.pdf](http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-26

名称: 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

指標番号:

QIP: 2107

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 感染症系

名称: 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

意義: 血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されている

必要データセット: Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 血液培養のオーダー日数（人日）

分子: 血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数（人日）

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :

実施日が解析期間のケースを対象とする

2 :

このうち、EFファイルより下記の血液培養オーダー、1患者1日毎に実施された日数を集計する。同一日に複数のレコードがあっても、1とカウント。

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	細菌培養同定検査（血液）	D018-3	○	○	○	○	○

3 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

上記血液培養の実施回数が1日2回以上の日数を合計する。実施回数は1患者1日で合計する。実施回数は、EFファイルではEF-7='000'以外のレコード（Fファイル相当）から集計し、行為回数EF-21×使用量EF-12（ただし、使用量は「0」の場合1として計算）を算出する。EファイルFファイルが別の場合、Fファイルより使用量F-12を抽出し、それに紐づくEファイルの行為回数E-15を掛け合わせて算出する。（使用量「0」の場合の処理は同様）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母



指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :  
2014年度データ以降で測定（2014年度診療報酬改定から、血液を2か所以上から採取した場合に限り、2回算定できる）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率（2016）

指標番号:

QIP: 2110

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率（2016）

意義: 脳卒中の治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 脳卒中で入院した症例

分子: 分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :  
このうち、入院の契機となった傷病名および最も資源を投入した傷病名のコードが両方ともI6\$（脳血管疾患）の症例
- 3 :  
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手術料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1：
「地域連携診療計画加算」が算定されている症例

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113009010	地域連携診療計画管理料	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
分子としている地域連携診療計画加算の算定要件の制限上、特に2番の条件により、100%になるものではない

- 2：
- 〔算定要件〕
- ① あらかじめ疾患ごとに地域連携診療計画が作成され、一連の治療を担う連携保険医療機関等と共有されている。
  - ② 地域連携診療計画の対象疾患の患者に対し、当該計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、入院後7日以内に個別の患者ごとの診療計画を作成し、文書で家族等に説明を行い交付する。
  - ③ 患者に対して連携保険医療機関等において引き続き治療が行われる場合には、当該連携保険医療機関に対して、当該患者に係る診療情報や退院後の診療計画等を文書により提供する。また、当該患者が、転院前の保険医療機関において地域連携診療計画加算を算定した場合には、退院時に、当該転院前の保険医療機関に対して当該患者に係る診療情報等を文書により提供する。

3：
2016年より

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率(2016)

指標番号:

QIP: 2109

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率(2016)

意義: 急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :  
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :  
このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

- 3 :  
このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術 1 のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○

K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手術料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4：  
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1：  
「地域連携診療計画加算」が算定されている症例

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）				○	
113023370	地域連携診療計画加算（診療情報提供料1）				○	○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1：  
分子としている地域連携診療計画加算の算定要件の制限上、特に2番の条件により、100%になるものではない
- 2：  
[算定要件]
- ① あらかじめ疾患ごとに地域連携診療計画が作成され、一連の治療を担う連携保険医療機関等と共有されている。
  - ② 地域連携診療計画の対象疾患の患者に対し、当該計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、入院後7日以内に個別の患者ごとの診療計画を作成し、文書で家族等に説明を行い交付する。
  - ③ 患者に対して連携保険医療機関等において引き続き治療が行われる場合には、当該連携保険医療機関に対して、当該患者に係る診療情報や退院後の診療計画等を文書により提供する。また、当該患者が、転院前の保険医療機

関において地域連携診療計画加算を算定した場合には、退院時に、当該転院前の保険医療機関に対して当該患者に係る診療情報等を文書により提供する。

3 :  
2016年より

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21